

ネイティブ鳥類骨□芽球腫ウイルス **AMV**-リバーストランスクリプターゼ

Cat. No. NATE-0073

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 逆転写酵素 (RT) は、RNAテンプレートから相補的DNA (cDNA) を生成するために使用される酵素であり、このプロセスは逆転写と呼ばれます。主にレトロウイルスに関連しています。しかし、非レトロウイルスもRTを使用します (例えば、Hepadnaviridaeの一員であるB型肝炎ウイルスは、dsDNA-RTウイルスであり、レトロウイルスはssRNAウイルスです)。RT阻害剤は、抗レトロウイルス□として広く使用されています。RT活性は、染色体末端の複製 (テロメラーゼ) やいくつかの移動遺伝要素 (レトロトランスポゾン) と関連しています。

用途 AMVリバーストランスクリプターゼは、RNAテンプレートに□して相補的なDNA (cDNA) を合成します。転写の開始には、RNAテンプレートに相補的なDNAプライマーと、二価カチオン (MgまたはMn) が必要です。この酵素は、最終的なクローニングやプローブとしての使用のために、mRNAからcDNAを作成するために一般的に使用されます。

別名 DNAヌクレオチジルトランスフェラーゼ (RNA指向); リバーストランスクリプターゼ; リパーテース; RNA依存性デオキシリボ核酸ヌクレオチジルトランスフェラーゼ; RNAリパーテース; RNA依存性DNAポリメラーゼ; RNA指示型DNAポリメラーゼ; RT; EC 2.7.7.49; 9068-38-6

製品情報

由来 鳥類骨□芽球腫ウイルス

EC番号 EC 2.7.7.49

CAS登録番号 9068-38-6

単位定義 1ユニットは、ポリアデニル酸をテンプレートとして、オリゴ(dT)12-18をプライマーとして使用し、37°Cで10分間でTCA沈殿物に1 nmolのdTTPを取り込む。

保管・発送情報

保存方法 -70°C